

(独) エネルギー・金属鉱物資源機構理事長選任理由

本法人の使命は、資源・エネルギーの安定供給及び生活環境の保全並びに金属鉱業等の健全な発展に寄与することを目的に必要な業務等を行うことにある。

そうした組織にあって、本ポストには、機構の全業務を総理し、国の資源・エネルギー政策を踏まえ、経済産業大臣が定める中期目標を達成するため、自ら最前線に立って資源開発プロジェクトやカーボンニュートラルを推進し、産資源国の担当政府機関のトップ等と折衝し、本法人を精力的に率いていくことが求められる。

本件公募に対しては、7人の応募があり、選考委員会が書類選考で3人に候補者を絞り、面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者の評価を任命権者である経済産業大臣に提示し、これに基づき、経済産業大臣が高原一郎氏を選任したところである。

任命理由は、民間企業においてカーボンニュートラル分野を含むエネルギー事業部門を長らく率いた経験に加え、過去にも行政分野で培った見識や資源国トップとの交渉経験があり、職務内容書で必要とされる経験や能力、専門性、リーダーシップが官民双方の分野において十分に備わっていること、本法人の人材育成をはじめとした経営運営改革について極めて強い意欲と情熱を持っていることなど、任期満了時に71歳となるが適格性を欠くまでの要件の逸脱ではないことを含め、これら総合的な観点から、選考委員会による書類選考及び面接選考を通じて最も高く評価されたためである。経済産業大臣もこれら総合的な能力が発揮されることに期待している。